

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 29 年 7 月 13 日 (2017.7.13)

【公開番号】特開 2015-230280 (P2015-230280A)

【公開日】平成 27 年 12 月 21 日 (2015.12.21)

【年通号数】公開・登録公報 2015-080

【出願番号】特願 2014-117732 (P2014-117732)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/543 (2006.01)

G 0 1 N 33/553 (2006.01)

G 0 1 N 33/545 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/543 5 2 1

G 0 1 N 33/553

G 0 1 N 33/545 A

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 6 月 2 日 (2017.6.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

生体試料に含まれる分析対象物と第一物質の反応によって形成された複合物と、第二物質とを反応させることで発生する検出可能なシグナルを測定し、測定した上記シグナルを予め測定したシグナル基準値と比較することで上記分析対象物の濃度を判断することを特徴とする分析対象物の検出方法。

【請求項 2】

上記測定は、ラテラルフロー用テストストリップを用いて行われることを特徴とする請求項 1 に記載の分析対象物の検出方法。

【請求項 3】

上記第二物質は、上記ラテラルフロー用テストストリップを構成するメンブレンの設定位置に固定化されていることを特徴とする請求項 2 に記載の分析対象物の検出方法。

【請求項 4】

上記分析対象物と上記第一物質との反応は、両者を混合することで行われることを特徴とする請求項 1 ～ 請求項 3 のいずれか 1 項に記載の分析対象物の検出方法。

【請求項 5】

上記複合物と上記第二物質との反応は、両者を混合することで行われることを特徴とする請求項 1 ～ 請求項 4 のいずれか 1 項に記載の分析対象物の検出方法。

【請求項 6】

上記分析対象物と上記第一物質との反応は、物理的親和性、化学的親和性、化学結合、免疫学的方法のいずれか 1 つを利用して行われることを特徴とする請求項 1 ～ 請求項 5 のいずれか 1 項に記載の分析対象物の検出方法。

【請求項 7】

上記複合物と上記第二物質との反応は、物理的親和性、化学的親和性、化学結合、免疫学的方法のいずれか 1 つを利用して行われることを特徴とする請求項 1 ～ 請求項 6 のいずれか 1 項に記載の分析対象物の検出方法。

【請求項 8】

上記免疫学的方法は、酵素免疫測定法（EIA）、放射免疫測定法（RIA）、蛍光免疫検定法（FIA）、細胞免疫染色法、組織免疫染色法、免疫沈降法、フローサイトメトリー法、蛍光標示式細胞分取法（FACS）、イムノクロマトグラフィー法、水晶振動子マイクロバランス法（QCM）、表面プラズモン共鳴法（SPR）、二面偏波式干渉法（DPI）、エリブソメトリー法、ELISPOT法、ウェスタンブロッティング法のいずれか1つを用いて測定可能な方法であることを特徴とする請求項6又は請求項7に記載の分析対象物の検出方法。

【請求項 9】

上記第一物質は、化学結合または物理結合によって第一支持体に固定化されていることを特徴とする請求項1～請求項8いずれか1項に記載の分析対象物の検出方法。

【請求項 10】

上記第二物質は、化学結合または物理結合によって第二支持体に固定化されることを特徴とする請求項1～請求項9のいずれか1項に記載の分析対象物の検出方法。

【請求項 11】

上記シグナルは、光学的、電気化学的、又は磁気化学的手法によって検出可能なものであり、

上記測定は、光学的、電気化学的、又は磁気化学的手法を用いた測定であることを特徴とする請求項1～請求項10のいずれか1項に記載の分析対象物の検出方法。

【請求項 12】

生体試料に含まれる分析対象物と第一物質の反応によって複合物を形成する複合物形成部と、前記複合物と第二物質とを反応させることで検出可能なシグナルを発生可能なシグナル発生部とを備えることを特徴とするラテラルフロー用テストストリップ。

【請求項 13】

上記第二物質は、メンブレンの設定位置に固定化されていることを特徴とする請求項12に記載のラテラルフロー用テストストリップ。

【請求項 14】

上記第一物質は、化学結合または物理結合によって第一支持体に固定化されていることを特徴とする請求項12又は請求項13に記載のラテラルフロー用テストストリップ。

【請求項 15】

上記第二物質は、化学結合または物理結合によって第二支持体に固定化されることを特徴とする請求項12～請求項14のいずれか1項に記載のラテラルフロー用テストストリップ。